

狭軌用牽引式軌道検測装置

概 要

牽引用検測装置は、通常運用している軌道検測車等が豪雨や地震などの災害により運用が困難な場合に容易に代替検測ができるものとして開発しました。

運用は、測定現場までトラック等で運搬し、載線後はお客様が所有する保守用車又は当社で所有している牽引用軌陸車を用いて測定します。



特 徴

■ 諸 元

- ・ 全長：6040mm
- ・ 全幅：2100mm
- ・ 全高：1363mm
- ・ 重量：約2.0 t

■ 測定方式

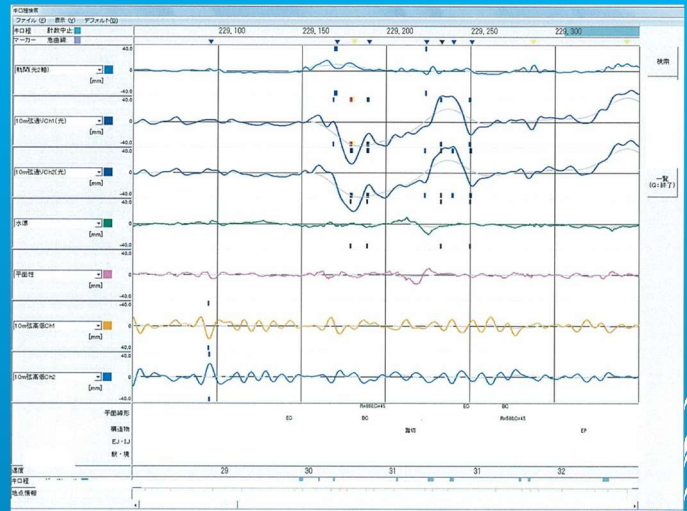
測定方式は非接触式（レーザー変位計）による5m弦正矢（測定サンプリング：0.25m）により行い、倍長演算により10m弦正矢、20m弦正矢を算出します。測定項目は、軌間、水準、高低、通り、平面性の5項目になります。

■ 走行性能

走行性能は、最高測定速度45km/h（分岐器等除く）、最小曲線半径80mに対応しており、こう配は、牽引する車両の性能によります。

測定データの提供方法

軌道変位の波形チャートと数値（csv形式）及びトラックマスターと同じ形式の電子データを提供することができます。



波形チャートの例

牽引用軌陸車

■ 概要

牽引用軌陸車は、牽引用検測装置専用の車両です。特徴としては車両後方に測定室を搭載し、測定中の機器状態及びデータ監視を行うことにより、より良い成果物を提供するとともにトラブル発生時に迅速に対応できます。



■ 車両諸元・走行性能

① 車両諸元

全長：6350mm、全幅：2200mm、全高：3000mm（載線後：3200mm）、重量：約7.5 t

② 走行性能（軌道上）

最高速度：20km/h、最小曲線：半径100m、こう配：35%



株式会社 日本線路技術

検測事業部(本社)
東京検測支店
仙台検測支店

NTT:03-5284-6062
NTT:03-5284-8003
NTT:022-356-5007